

はるなさん

榛名山

はるなさん かんとうちほう ほくぶ ぐんまけん じょうもうさんざん ひと こらい さんがくしんこう う
榛名山(はるなさん)は、関東地方の北部の群馬県にある上毛三山の一つであり、古来山岳信仰を受けてきた
やま やま なんせい はるなじんじゃ まつ
山である。山の南西に榛名神社が祀られている

がいよう 概要

さんちよう みずうみ はるな こ ちゅうおうかこう きゆう はるな ふじ ひようこう ねんごろ やく ねんご
山頂にはカルデラ湖である榛名湖と中央火口丘の榛名富士(標高1390.3m)がある。495年頃と約30年後
おお ふんか み ちゅうおう はるな ふじ さいこうほう かもんがたけ ひようこう
に大きな噴火をしたと見られている。中央のカルデラと榛名富士を最高峰の掃部ヶ岳(かもんがたけ 標高
てんもくやま とが みね そうまさん ふた だけ てんけいてき えぼし だけ びん
1449m)、天目山(1303m)、尖った峰の相馬山(1411m)、ニッ岳(1344m)、典型的な烏帽子岳(1363m)、鬘
ぐしやま かこ さら そとがわ みずさわやま あさまやま たか すやま み みねやま あんず
櫛山(1350m)などが囲み、更に外側にも水沢山(浅間山 1194m)、鷹ノ巣山(956m)、三ッ峰山(1315m)、杏が
たけ こが りょうやま ごまんごく かずおお そくかざん ひじょう おお みね ふくざつ さんよう
岳(1292m)、古賀良山(982m)、五万石(1060m)など数多くの側火山があり、非常に多くの峰をもつ複雑な山容を
み
見せている。

はるなさんしゅうへん いかほ おんせん かくしゅ おんせん で
また、榛名山周辺には伊香保温泉をはじめ各種の温泉が出ている。

しんこう ゆうめい はるな じんじゃ みずさわかんのん じしゃ さんちゆう
信仰としては、有名などころだけでも榛名神社、水沢観音といった寺社が山中にある。

でんしよう 伝承

はるなさん かんけい でんしよう きよじん ふじさん あさまやま はるなさん きょうそう つく ひといき
榛名山に関係する伝承では、巨人ダイダラボッチが、富士山、浅間山、榛名山を競争で作り、あと一息という
ふじさん か みんわ はるな じんじゃ す わ じんじゃ いど とお しよつき か
ころで富士山のだいだらぼっちが勝ったという民話や、榛名神社が諏訪神社から井戸を通して食器を借りたという
みんわ こうぼうだいし つえ さ いど ほ みんわ のこ さんがくしんこう さか
民話や、弘法大師が杖を刺して井戸を掘ったという民話が残り、山岳信仰が盛んだったことをうかがわせ
る。

はるなさん ちな なまえ 榛名山に因む名前

はるな せんかん
* 榛名(戦艦)

かたごえい かん
* DDH141 はるな(はるな型護衛艦)

かいじょうじえいたい どうさいごえい かん いちばんかん
海上自衛隊のヘリコプター搭載護衛艦 (DDH) の一番艦 (ネームシップ)

- てつどう
鉄道

げんざい とつきゆう あかぎやま ちな うんこう けいとう うえのえき まえばしえきかん
現在「特急 あかぎ」(赤城山に因む)が運行されている高崎線・両毛線系統(上野駅～前橋駅 間など)の
ゆうとうれっしや れっしやあいしやう いちじ しやう こと
優等列車の列車愛称にも、一時「はるな」が使用されていた事があった。

- りきし
力士

ぬまたし しゅっしん りきし はるなふじ しんじ たいほうべや
沼田市出身の力士に榛名富士新司(大鵬 部屋)がいる。

- た
その他

ぐんま けんない しょうがっこう うんどうかい くみわ じょうもうさんざん なまえ もち あかぎだん はるなだん
群馬県内の小学校では、運動会 ときの組分けを、上毛 三山 の名前を用いて、「赤城団」「榛名団」
みょうぎだん くみ たいこう れい たすう そんざい ちいき こと にんずう おお あさま
「妙義団」の3組とし、対抗させる例が多数存在する(地域によって異なり、また人数が多いときは「浅間
だん くわ にんずう すく とき あかぐみ しろぐみ わ ばあい
団」を加え、人数が少ない時は紅組、白組で分ける場合もある)。